



横浜市立東山田中学校区学校支援ファンド

(やまたらうファンド)について

<設立の目的>

東山田中学校区の保護者や地域住民等が学校運営への支援を行うことによって特色ある学校作りを推進する。
また、保護者や地域住民等の学校運営への参画の幅を広げ、学校の運営や教育活動の充実に資する。

<管理運営>

ファンドは、東山田中学校、山田小学校、北山田小学校、東山田小学校の4校PTA、地域の方々からなる運営委員会によって管理・運営される。

横浜市立東山田中学校区学校支援ファンドは平成23年4月に設立。設立時事業規則を作成するにあたっては横浜市教育委員会のアドバイスにより、横浜市教育委員会の学校ファンドのアウトラインに沿って作成。

横浜市立東山田中学校区学校支援ファンド事業規則は次頁を参照。

<現在の活動>

(1) 個人・地域団体等を対象とした募金活動として

①やまたらうBOX運営

②東山田中学校コミュニティフェスタ・東山田中学校東Pフェスタに於けるガラポンの実施

(2) 東山田中学校区学校支援地域本部の活動資金とする。

H23年度については横浜市教育委員会からの予算が不足した場合使用する。

東山田中学校区学校支援地域本部の活動内容はリーフレットに掲載。

やまたらうBOX



ガラポン



学校ファンドのアウトライン（横浜市教育委員会より）

平成21年4月

1 はじめに

学校ファンドの設立については、平成19年1月に策定された横浜教育ビジョン推進プログラムの中の「保護者・地域の学校運営への参画推進」の最重点事業の一つとして位置づけられています。

本市でもこれまで、学校独自の取組として、様々な形態で保護者・地域からの学校支援が行われてきましたが、この度、「学校ファンドは、保護者や地域が学校へ物品やサービスの提供などの学校支援を行ううえで、資金を自主的に管理・運営する仕組み」と整理し、保護者・地域からの学校支援がより一層進められるよう、学校ファンドと学校の位置づけを検討しアウトラインを示しました。